



さいたま市立沼影小学校 令和6年度 7月号

毎月19日は、食育・地産地消の日

暑さ本番です

体調を整え、と自めなる水の温浴を

梅雨が明けると一気に気温が上がり、熱中症のリスクが高まります。熱中症を予防するには、しっかりと睡眠をとり、朝ごはんを必ず食べること、こまめに水分補給を行うことが肝心です。マスクをしていると喉の渇きを感じにくくなりますので、喉が渇いていなくても1時間ごとにコップ1杯程度の水分をとるようにしましょう。また、汗をたくさんかいたときには、スポーツドリンクなどで塩分も一緒に補給します。



熱中症予防

4つのポイント 🕃



(日差しを避ける



水分・塩分補給



体調を整える



参考:文部科学省 中学生用食育教材『「食」の探究と社会への広がり』

☑ カルシウムをとろう!

もうすぐ夏休みが始まります。夏休みの間も早寝・ 早起き・朝ごはんを心がけ、規則正しい食生活がおくれるようにしましょう。また、給食がない日は、カルシウムが不足しがちになります。カルシウムは、丈夫な骨をつくるのに欠かせない栄養素です。牛乳・ にゅうせいひん 乳とした。カルシウムを高さいない。カルシウムは、文大な骨をつくるのに欠かせない栄養素です。牛乳・ にゅうせいひん 乳といるとはじめ、カルシウムを多く含む食品を意識して食事に取り入れましょう。



~作ってみませんか??~ じゃがいもと鶏肉のさっぱり煮

<材料(小学生4人分)>

じゃがいも 240g 角切り

・揚げ用油

• 鶏肉 160g 角切り

たまねぎ 160g 角切りにんじん 60g いちょう切り

・さやいんげん 20g 3cm切り

• 水煮大豆 100g

にんにく 2g みじん切り

しょうが 2g みじん切り

·水 60ml

• 三温糖 10g

しょうゆ 24g(小さじ4)

・コンソメ 2g・りんご酢 20g

植物油 4g(小さじ4)

<作り方>

- ①さやいんげんを茹でて粗熱をとる。
- ②じゃがいもを素揚げする。
- ③油を熱し、にんにく、しょうが、鶏肉を炒める。
- ④たまねぎ、にんじんを入れて炒め、水、大豆を入れる。
- ⑤ひと煮立ちしたら、砂糖、しょうゆ、コンソメ、りんご 酢を入れて煮る。
- ⑥火を止め、さやいんげんとじゃがいもをさっと和える。

☆お酢がたくさん入るので、肉はやわらかくなり、さっぱりとさわやかな味が楽しめます。肉や、野菜、じゃがいも、だいすなどいろいろな食べ物がとれる栄養満点の料理です。ぜひご家庭でも作ってみてください!!